

第 9 回農業女子プロジェクト 推進会議

2020.11.25

0. Main Slide

日時：令和2(2020)年11月25日(水) 14:00～16:00

場所：農林水産省 7F講堂、オンライン

次第：

内容	発表者	開始時刻	終了時刻	時間(分)
Photo Session	ALL	14:00	14:05	5
開会	農林水産省	14:05	14:06	1
挨拶	農林水産省	14:06	14:11	5
参加者紹介	農林水産省	14:11	14:12	1
議事		14:12	16:00	108
閉会	農林水産省	16:00	16:00	1

第9回推進会議 Contents

議事内容	詳細	発表者	開始時刻	終了時刻	時間(分)
第7期活動報告	地域グループの取組	ぼっちチェルリーズ 石橋 正枝さん	14:12	14:17	5
		阿波アグリガールズラボ 西岡 さち子さん	14:17	14:22	5
	地域グループ連携	Happy Farmingいいっちゃない福岡 くわの 由美さん	14:22	14:27	5
	地域グループの取組	AGRI BATON PROJCT 横田 祥さん	14:27	14:32	5
		ふくしま農業女子チャレンジガールズ 佐藤 昭子さん	14:35	14:40	5
	ラボ活動	循環ラボ 竹林 千尋さん	14:40	14:45	5
	取組報告	事務局	14:45	14:55	10
	企業PJ	株式会社タニタ 様	14:55	15:00	5
	教育機関とのPJ	山形大学農学部 様	15:00	15:05	5
	質疑応答		15:05	15:10	5
～休憩～			15:10	15:20	10
第8期活動に向けて	新規参画企業の紹介	新規参画企業	15:20	15:25	5
	第8期に向けた取組方針	事務局	15:25	15:35	10
	質疑応答		15:35	15:45	10
意見交換		ALL	15:45	16:00	15

- ✓ 本日の会議は公開となっています。カメラ撮影もありますこと予めご了承ください
- ✓ 携帯電話をお持ちの方は電源を切るか、マナーモードにさせていただきうお願いします
- ✓ 「ペーパーレス化」を進める為、紙媒体の資料を極力なくしております。ご出席の皆様にはご不便をお掛けしますが、持参いただいておりますPCや壇上のスライドをご覧いただきながら会議にご参加ください
- ✓ 中央のメインテーブルにご着席の方におかれましては、お手元のタブレットのフォルダの資料を番号順にご覧ください
- ✓ (オンライン参加の皆様)回線状況等により、接続が切れることがあります。再起動の後、同一アドレスからご入場ください。
- ✓ 発表、発言以外では、ミュートにしてお聞きください。

1. Overview

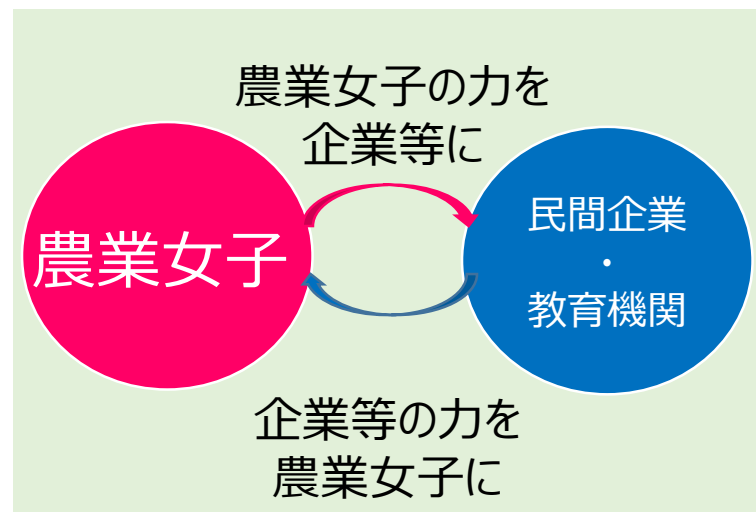
- ◆ 女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信。
- ◆ プロジェクトを通して、**社会全体での女性農業者の存在感**を高め、**経営力の向上**を図り、**職業としての農業を選択する若手女性の増加**をめざす。

個別プロジェクトの推進

企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス等を開発。農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」が発揮。

プロジェクトの広報活動

個別プロジェクトの進捗状況、イベントの開催等のプロジェクトの活動を発信 等

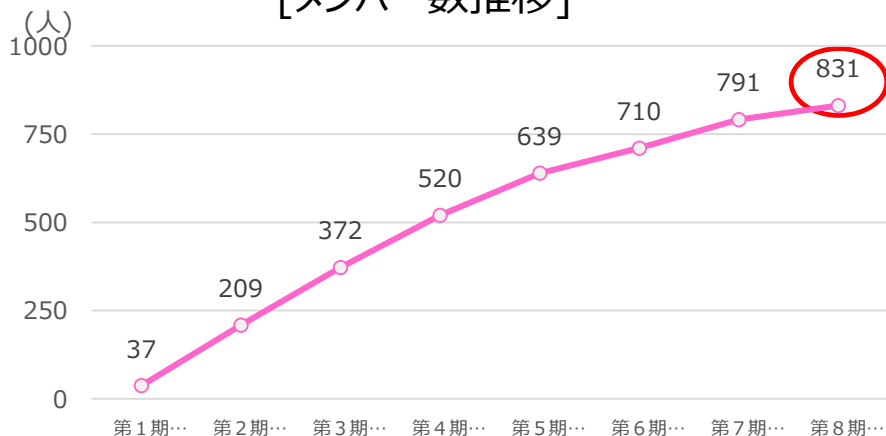


広く社会に発信

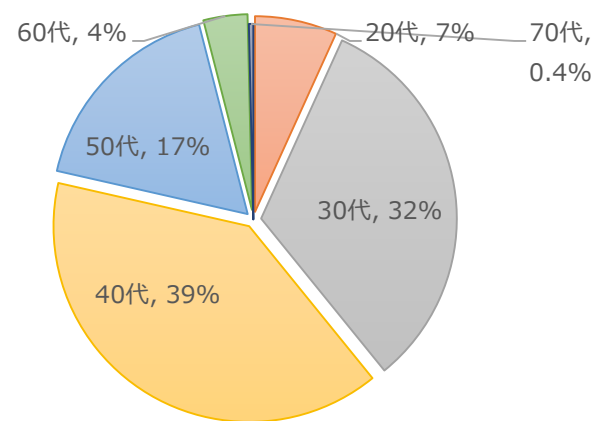
女性農業者の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、女性の職業選択肢に農業を！

- ◆ 参加者数の増加は鈍化傾向にあるものの、800名を突破
- ◆ 30-50代のメンバーが大層を占め、90%弱を占める

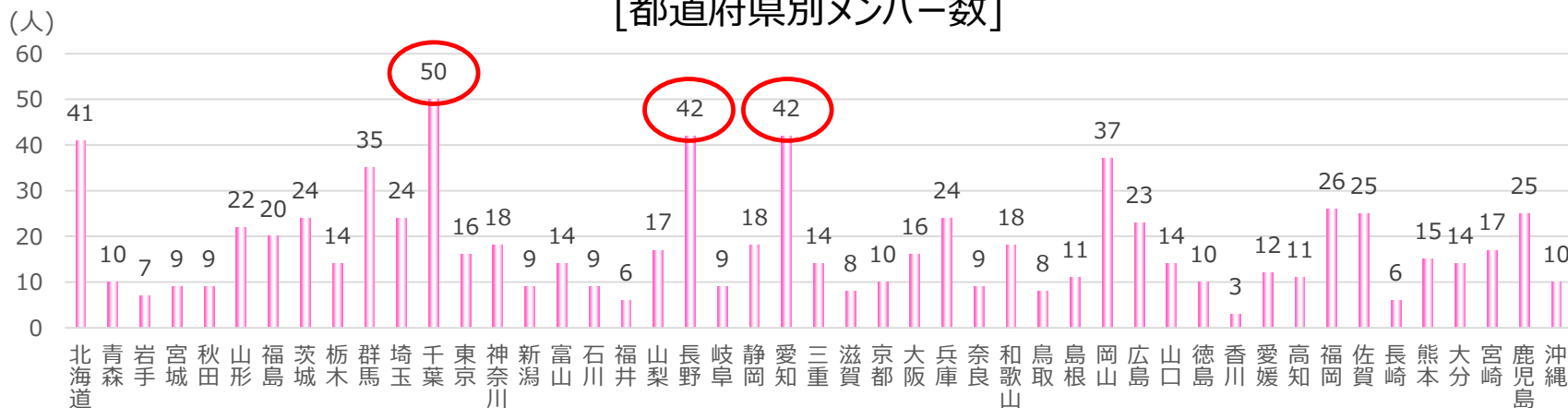
[メンバー数推移]



[メンバー年齢構成]



[都道府県別メンバー数]



2. 第7期活動について

第7期の活動テーマ及び活動方針（再掲）

- a. 地域グループ活動
- b. グループ間のネットワーク作りの促進
- c. ラボ活動
- d. SDGs
- e. 企業PJ
- f. 教育機関

第7期の活動テーマ

グループ同士の繋がりづくりによる
全国の農業女子メンバーのネットワーク強化！



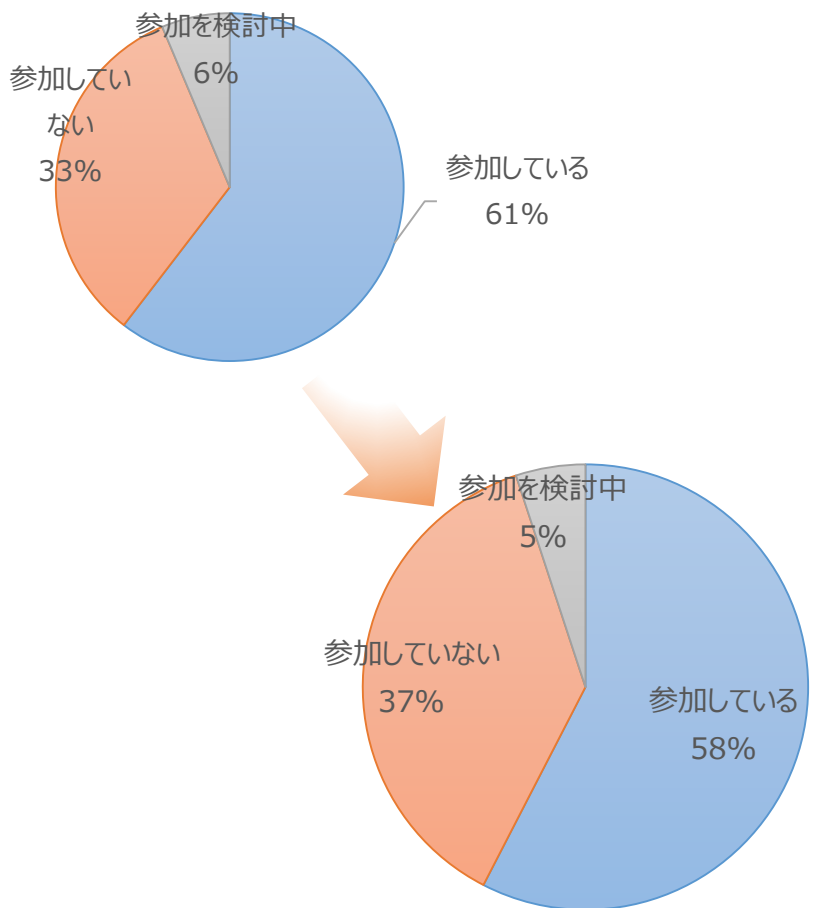
3つの活動方針

1. 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進
2. グループ間のネットワーク作りの促進
3. SDGsに係る取組の推進（第6期に引き続き）

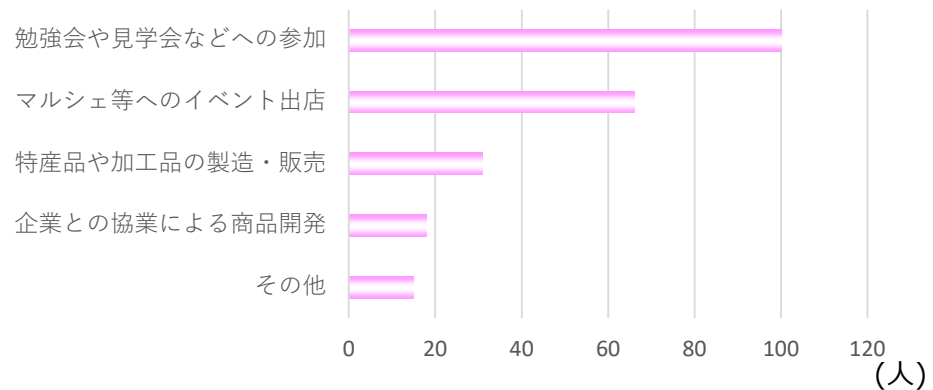
a. 第7期活動成果 ～地域グループ活動～

- ◆ 農業女子の地域グループへの参加は6割程度で推移
- ◆ 「勉強会や見学会などへの参加」をグループ参加目的、また今後取り組みたいテーマとしている方が多い状況

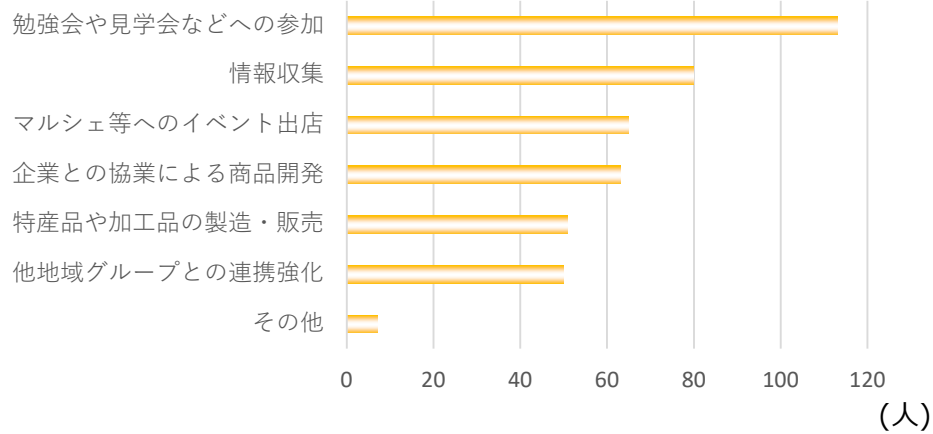
[地域グループ参加率の推移]



[地域グループ参加の目的]



[今後取り組みたいテーマ]



資料：「農業女子プロジェクト第8期に向けたアンケート」を基に作成

【取組事例】

[やまがた農業女子ネットワーク]



やまがた農業女子ネットワークは、自らの意識改革・経営発展、女性農業者の存在感向上、職業として農業を選択する若手女性の増加等に資することを目的として活動。

第7期は、2020年1月14日に「GAP視察研修バスツアー」を開催し、GAP導入を先行的に実施されている農家のもと、見学会を開催、また7月にはリコージャパン様ご協力のもと、SDGsに関する勉強会を開くなど、積極的な活動を展開していただきました。



GAP視察研修バスツアーの様子
(2020.1)



SDGs勉強会 (2020.7)

[かごしま農業女子プロジェクト]



モデルハウス内でおもてなし

マルシェの様子

かごしま農業女子プロジェクトでは、6月にサポーターズ企業である(株)トータルハウジングと共同でイベントを開催いたしました。

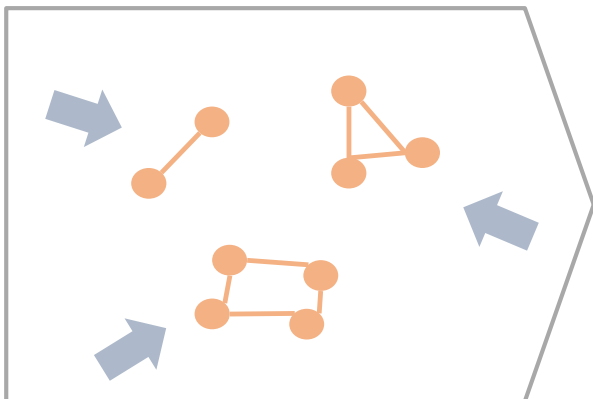
「食育&職育」をテーマに集結した、かごしま農業女子PJのメンバーがモデルハウスの中と外に分かれて、モデルハウス内ではウェルカムドリンクなどでおもてなし、外ではマルシェを開催し、来場者にかごしま農業女子の商品や取組を認知していただく良き機会となりました。

b. 第7期活動成果 ～グループ間のネットワーク作りの促進～

再掲

グループ同士の繋がりづくりによる
全国の農業女子メンバーのネットワーク強化！

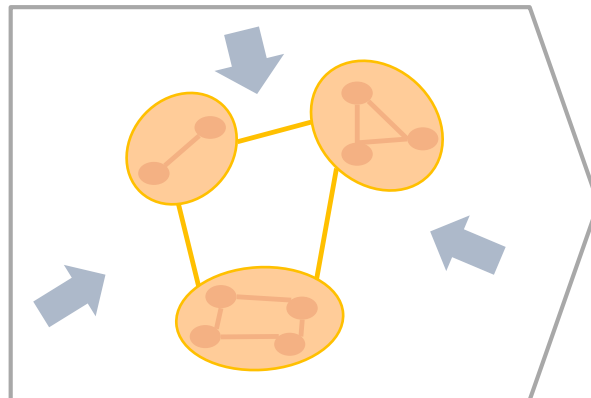
STEP①



農業女子同士で
目的達成に向けた
仲間づくり！

地域つながり、やりたいことつながり
など、仲間が集まればできることも
増える♪

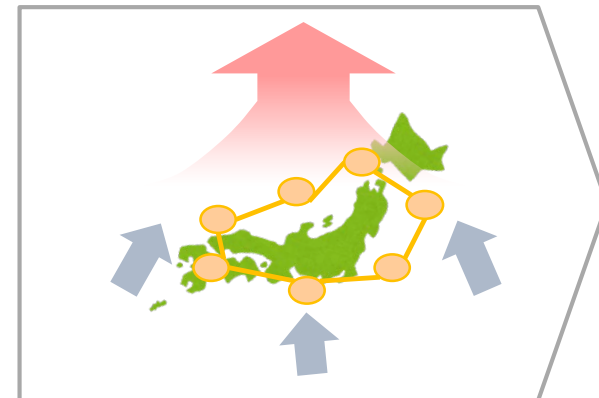
STEP②



グループ同士の
繋がり強化で
もっと発展！

各グループ同士の交流、学びあい、
連携は、各グループ、個々のメン
バーの発展につながる！

STEP③



全国のグループネットワークを
活用して社会全体で女性農
業者の存在感UP！

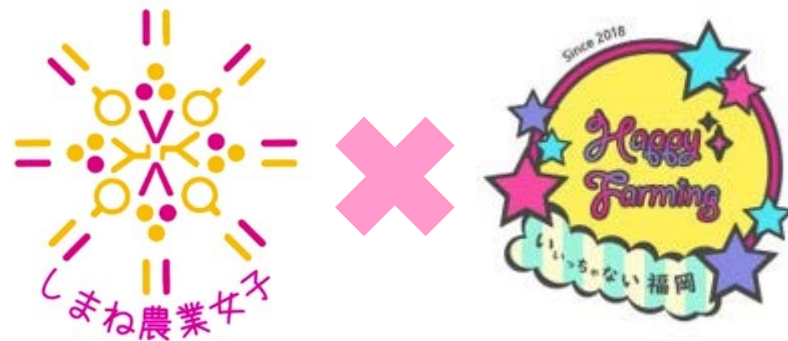
b. 第7期活動成果 ～グループ間のネットワーク作りの促進～

- ◆ 地域グループ同士の連携強化に向けて、しまね農業女子とHappy Farmingいいじゃない福岡にて連携に向けた意見交換を実施
- ◆ 今後もグループを広げ、繋がり強化に向けた支援を実施

[しまね農業女子×Happy Farmingいいじゃない福岡]

地域グループ同士の繋がり強化に向けて、島根県の「しまね農業女子」と福岡県「Happy Farmingいいじゃない福岡」、事務局で打合せを実施しました。

打合せでは、それぞれのグループの体制や取組内容の紹介、力を入れている活動などについて、各々ご紹介いただき、今後の連携強化に向けてどのようなことを実施してみたいか、現在の悩みなどについて、活発な意見交換が行われました。



皆様からは、

- ・異なる環境の農業やその土地に見合った経営のスタイルを見学させてもらいたい
 - ・地域グループ活動を視察させていただき、自分のグループの活動に活かしたい
 - ・それぞれの地域の特産品をそれぞれのグループで販売し、他地域でも特産品の認知を向上させたい
 - ・それぞれの知見や協業相手を活かした商品開発なんかもできないか？
- など、多くのご意見を頂戴いたしました。



c. 第7期活動成果 ～ラボ活動～

- ◆ 農業女子ラボは、農業女子のアイデアや課題に共感する仲間たちによる自主的活動（2020年11月現在7組織）
- ◆ 第7期では新たに2つのラボが新設され、自主的な勉強会等を開催

[循環ラボ]

「循環ラボ」はSDGsゴールの達成に向けて、海と畑の地域資源循環などを中心に地域資源の循環を生かした農業を実現するラボです。

同じ目的を持つ農業女子メンバーのネットワークづくり/メンバー同士の情報共有/各地での現状の把握・整理や、参加農家の農産物や海産物の商品価値を高め、ブランド化に繋げる活動に向け、月1回のペースで全国にいるメンバーでオンラインによる勉強会を開催しています。

設立：2020年6月 メンバー：5名



循環資源を土壌にすき込んだ様子

地元の牡蠣殻などを再活用



[Noujyo Lab.]



初回オンライン会議の様子

オンラインを使って、全国の農業女子の“コミュニケーション”と“学び”を行い、農業の課題に向き合っていく自分を育てる『コミュニティと学びのプラットフォーム』ラボとして、「Noujyo Lab.」は設立いたしました。

農業女子が全国どこにいても、繋がり、学びあえる環境を整え、農や地域における課題解決を実現することで、持続可能な農と地域、そして幸せな農業女子を実現するため、定期的なコミュニティ活動や学びの体験を実施しています。

設立：2020年8月 メンバー：12名

- ◆ SDGsに達成に向け、毎月、特徴的な取組を実施している農業女子をHP上で紹介
- ◆ 農林水産省の他局とも連携し、多くの方々に農業女子のSDGsの取組を発信し、持続可能な社会の実現に向けた取組をPR

[農業者のわたしたちにできる5つのこと]

農業女子プロジェクトでは、持続可能な社会の実現のため、農業女子メンバーがそれぞれの地域やコミュニティにおいて実施できることを考え、「農業者のわたしたちにできる5つのこと」をテーマに、SDGsの取組を推進しています。

その1 健康的な食生活の実現に取り組む

その2 農業体験から“食”と“農業”の大切さをおしえる

その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す

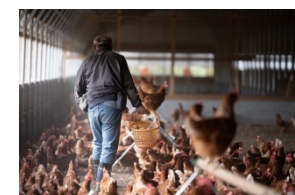
その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する

その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む

[農業女子の取組紹介]

農業女子プロジェクト公式HPで、毎月1回、農業女子が取り組んでいるSDGs達成に向けた取組について、紹介させていただきました。

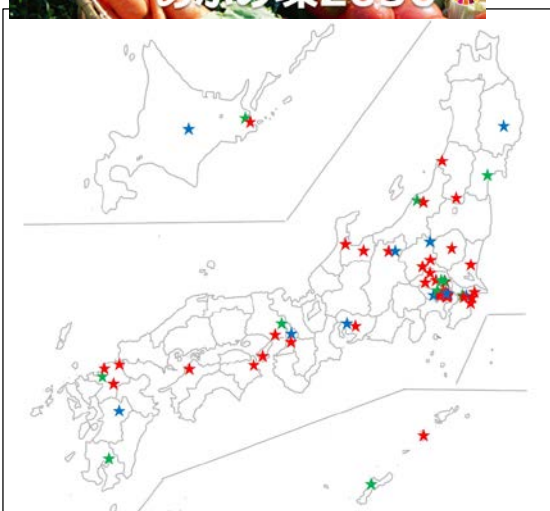
ご寄稿いただきました皆様、ご協力いただきまして、ありがとうございました。



【取組事例】

[サステナウィークマップ]

農林水産省 環境政策室で実施している「持続的な生産消費に向けた取組を進めるプロジェクト」あふの環2030。この取組のなかで、全国でサステナビリティの実現に向けて取り組まれている活動を「サステナ宣言」として、農業女子の皆様にも宣言いただきました（以下★の一部が農業女子よりいただいた宣言）。



[宮城県 齋田さんの取組]



地元の**牡蠣殻**を利用した**循環型農業の実践**をなさっています。

他にも、居久根（地域の屋敷林）で塩蔵昆布のぼかし化や、荃わかめでの土づくりも行われています。

農林水産省 環境政策室で公開している、SDGsに取り組む農業者を紹介する**YouTubeチャンネル「サステナブルリレー」**の取材も受けられました。

- ◆ コロナ禍にあり、対面による活動が非常に困難である中ではあるものの、オンライン活用を含めて、企業PJを停滞することなく実施いただきました。

[企業PJ 総括]

コロナウイルスにより、対面の個別PJ活動が非常に難しい中、農業女子・企業様共にオンラインを活用するなどして取組を実施していただきました。

事前に実施したアンケートでは、プロジェクトで今後取り組みたいこととして、企業との個別PJが上位となっており、また事務局に求めることとしても、企業PJの活性化をご要望の農業女子が非常に多いことがわかりました。

またご意見の中には、関東近郊で行われる企業PJが非常に多く、地方の農業女子の参加が難しい、とのご意見も頂戴いたしました。

[全国農協観光協会]

農業女子つ・な・ぐプロジェクト

一般の皆様と農業女子が「カジュアルに農に触れる」ことをテーマとした『いろいろ。くらし。あぐり。』を9月22日～26日に開催。

農業女子ランチの提供や、ミニ収穫体験、植付・種まき体験、レシピ紹介などを実施しました。また、農業を応援するラジオ番組「あぐりずむ」のパーソナリティである川瀬良子さんとのトークショーを行い、農業女子が農業をはじめたきっかけ、農業への想い、こだわりの作業着など、一般の女性の方々にも親しみを感じていただける時間になりました。



農業女子ランチ



トークショーの様子



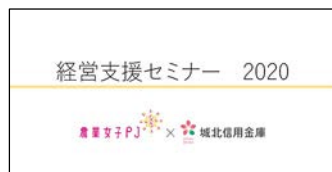
マルシェも大盛況！

【取組事例】

[城北信用金庫]

「作る」から「創る」へ！ビジネス&ライフ応援プロジェクト

全国の農業女子メンバーを対象とした経営支援セミナー（動画形式）を実施いただきました。より多くのメンバーに声が届くよう、初となる動画形式のセミナーを開催！SNSを活用したプロモーションを講義いただき、農業女子の学びとなりました。



[しまむら]

農業女子のまいにち服

第六回となるしまむらと農業女子の座談会を開催しました。生産される作物は様々な中で、日常の作業着のお悩みを工夫をお話いただきました。

座談会のアイデアを活かした開発商品が、11月19日に発売されました。



[温泉道場]

農業女子プロデュース替わり風呂PJ

温泉道場では、お風呂から文化を発信することをテーマに様々な浴室イベントを行っています。かぶせ茶を露天風呂に浮かべた「かぶせ茶風呂」や「サワーポメロ風呂」などを開催いただきました。



[三越伊勢丹]

農業女子一人一人の想いを'形にする・伝える・届ける'プロジェクト

毎年恒例となっている三越伊勢丹のお中元ギフトを販売いただきました。農業女子が生産した野菜や果物を使用した「点心セット」「シャーベットセット」を展開いただきました。



- ◆ コロナ禍にあり、対面による活動が非常に困難である中ではあるものの、オンライン活用を含めて、チームはぐくみの活動を停滞することなく実施いただきました。

[意見交換会]

前回推進会議にてはぐくみ校間の交流をすすめることになったことを受け、チームはぐくみ校の交流に向けた意見交換会を開催いたしました。

意見交換会では、東京農業大学と近畿大学との交流事業について近畿大学から状況のご報告をいただき、その後、今後の交流の在り方について意見交換が行われました。

また、教育機関同士、学生への学びの視点を踏まえた活発な意見が交わされ、企業や地域との連携や、はぐくみ校合同インターンシップの拡大、西日本や関西でははぐくみ会合といった提案が挙がりました。

コロナウイルスの状況により、合同インターンシップの開催は見送りとなりましたが、引き続き将来の農業女子の動機付け、意識の向上に向けた活動をお願いします。

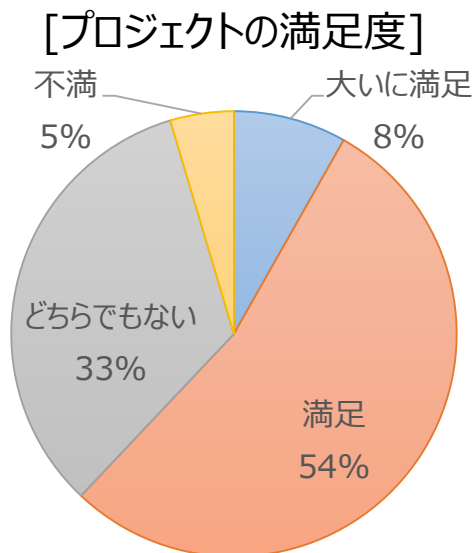
[近畿大学]

近大流 農業女子育成PJ

コロナ禍においても、様々な取組を実施いただきました。

- ★ 大阪府や愛媛県の農業女子メンバーが、「進路と職業」という科目において、**学生にオンライン講義**を行いました。
- ★ 大阪府の農業女子メンバーの農園で、**日帰りの農業体験実習**を実施しました。

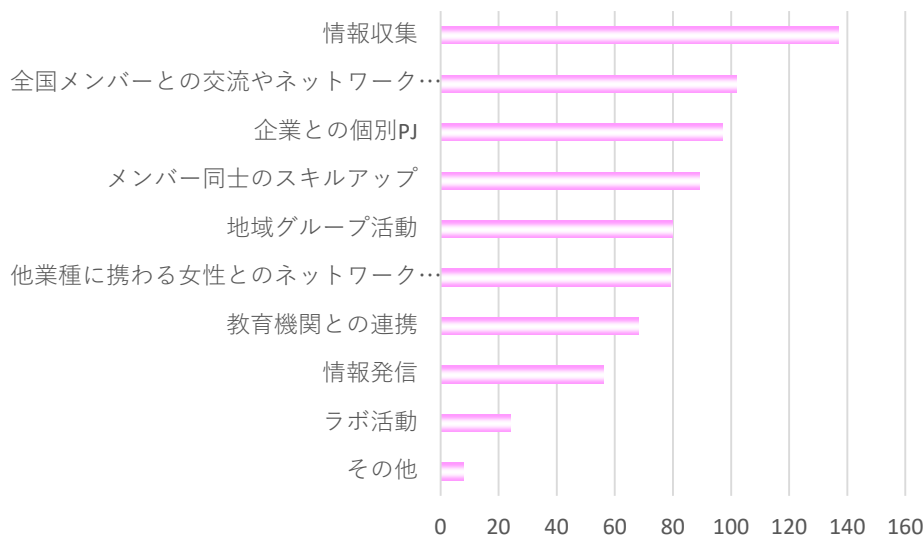




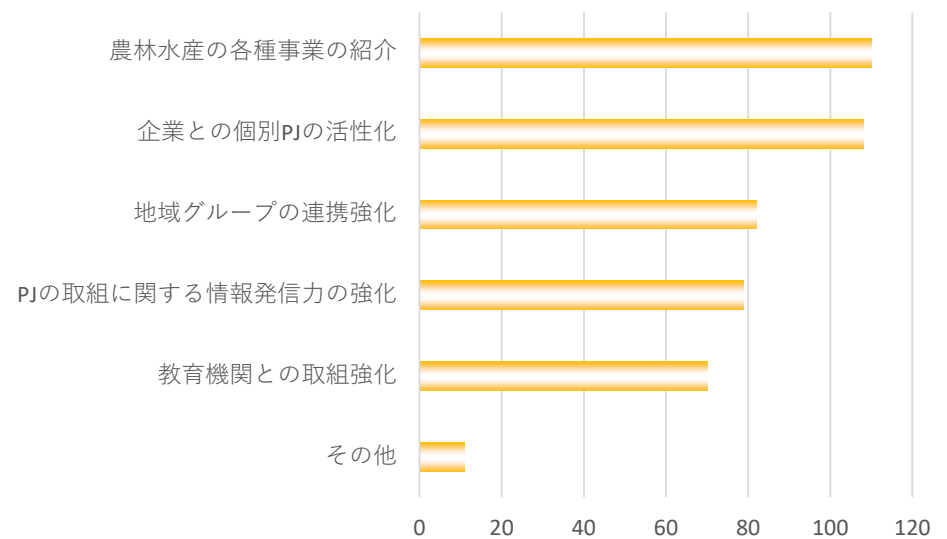
[感想・ご意見]

- 全国の農業女子との交流の場を設けてほしい
- オンラインで農業女子の交流会を開催してほしい
- 企業との個別PJをもっと増やしてほしい
- 個別PJは関東近郊での開催が多い
地方での開催回数も増やしてほしい
- 農業委員などとの意見交換会の場を設けられないか
- 日本農業の課題などについて、専門の方から話を伺いたい
- 農福連携や食育、子育て支援などの情報がほしい
等々

[プロジェクトで取組たいこと]



[事務局への要望]



(人)

(人)

3. 第8期活動に向けて

- a. 新規参画企業のご紹介
- b. 第8期活動方針
- c. 企業/教育機関の取組
- d. コロナ禍におけるプロジェクトの実施
- e. 各種規約の改定

a. 新規参画企業のご紹介

- ◆ 前回推進会議より、5社が参画企業として新規加入
- ◆ 第8期より、各社取組を本格的に開始しますので、是非よろしく願いいたします。



会社名	一般社団法人 日本品質保証機構
事業内容	マネジメントシステム・製品・環境等に関する 認証・試験・検査等
PJで目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・国際水準GAP(ASIAGAP/GLOBALG.A.P.)の要求事項の意図を理解することで、農産物の安全を向上すること。 ・GAPの要求事項がSDGsと密接に関係していることを知っていただくこと。

会社名	ヘッズ 株式会社
事業内容	業務用資材、販促用品、ラッピング用品、 ギフト用品の企画制作・販売
PJで目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・農家さんのお困りごとを弊社資材を活用して解決し、農家さんの売り上げアップ→さらに良い農作物を産出→消費者がより健康に→日本全体が健康に！そんな好循環をつくっていきたい。 ・資材を通して、農家さんの想いを消費者へつなぐお手伝い

会社名	株式会社 ミズホ
事業内容	肥料製造・販売
PJで目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業女子の子カラ」とミズホの「M」の子カラを掛け合せ、天候や気候に左右されない安定多収・高品質な農作物の生産を実現し、安定的に消費者にご提供します。



会社名	株式会社 カクイチ
事業内容	農業改善事業 他
PJで目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・全国のカクイチA-SITEにたくさんの「農」に関わる人たちが集い、未来の農業についてリアルとデジタルの力でコミュニケーションを深めて、新しい農業の形を一緒に創生していきたい。 ・「日本を農業で元気にする」を実現させていきたい。

会社名	ミズノ株式会社
事業内容	スポーツ品の製造・販売
PJで目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツで培ったテクノロジーを活かし、農業に従事されている方々への「商品」「ソフト」の開発をしていく。

第8期の活動テーマ

グループ同士の繋がりづくりによる
全国の農業女子メンバーのネットワーク強化！



3つの活動方針

1. 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進
2. 個人・グループ間のネットワーク作りの促進
3. SDGsに係る取組の推進（第6期に引き続き）

3つの活動方針

1. 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進

- ・ 地域グループ及び農業女子ラボからの希望に応じて、参画企業・教育機関との連携やマッチングの強化
- ・ グループ活動Awardの開催
- ・ 「こんなことをしてみたい」を気軽に発信できるプラットフォームの作成、グループ化やラボ化を支援

2. 個人・グループ間のネットワーク作りの促進

- ・ 地域グループ間の連携やマッチングの推進
- ・ 定期的な意見交換会の実施
： 個人間の回とグループ間の回とを毎月交代で開催 リーダー塾受講生の回も実施予定

3. SDGsに係る取組の推進

- ・ 公式ホームページでのSDGsに係る取組コラムを引き続き毎月掲載
- ・ 環境政策室とも連携し、企画・発信に務める
- ・ ブルーナンバーを用いたSDGsスコアカードの勉強会等導入に向けた準備（希望者）

C. 企業/教育機関の取組



参画企業

37社 (2020年11月時点)

アイアグリ 農家のみなさんに届け！	井関農機 「夢ある農業女子」応援Project	NTTドコモ スマート農業で農業女子の更なる環境改善・向上を！	温泉道場 農女プロデュース 替わり風呂PJ	カクイチ カクイチ A-SITE を活用した農業女子活動促進	カネコ総業 プロ向け・家庭菜園向けの使いやすい便利用品の開発	Kewpie あいち みんなのサラダ	コンビ/コンビウイズ 「おいしい！」を未来までつなげようプロジェクト
サカタのタネ ハッピーベジタブルで「新野菜」の需要創造！プロジェクト	しまむら しまむら × 農業女子PJ	SHARP 夏の作業もTEKION(テキオン)でクールに決めよう！	城北信用金庫 「作る」から「創る」へ！ビジネス & ライフ応援	精工 女子力でブランド力と経営力を向上！	全国農協観光協会 農業女子 つ・な・ぐ プロジェクト	象印マホービン 農業女子 In ライフスマイルプロジェクト	大日本印刷 農業女子の未来のあたりまえをつくるPJ
ダイハツ工業 農業女子マルチ×ハイゼットトラック全国展開	タニタ ご当地タニタごはんコンテストとともに農業女子と健康まちおこし！	近正 農作業を快適に！農業女子サポートPJ	東邦 汚れも悩みもスッキリ！農業をもっと楽しく！プロジェクト	東洋ハウジング 農業女子と考える住まいと地域のミライ・プロジェクト	東和コーポレーション プロジェクトA	豊島 農業女子的ファッション改革PJ	日本農薬 明日の農業女子を考える日農PJ
日本品質保証機構 農業女子プロジェクト G A P 講座	バンド・イム・アミューズメント 『農業×エンタメ』創出プロジェクト	フマキラー 「素敵・未来・ガーデン」プロジェクト	ヘッズ くだもの & 野菜をギフトに！新しいマーケットは女子力で	丸山製作所 ドローンで省力化！農業女子応援プロジェクト	ミズノ モノ・コト農業改善プロジェクト	ミズホ 食べる健康！美味しいは安全プロジェクト	三越伊勢丹 農業女子一人一人の想いを「形にする・伝える・届ける」プロジェクト
桃谷順天館 美味しく食べて、腸からキレイに！Bistro M's PJ	モンベル フィールドウェア開発プロジェクト	ヤマト運輸 農業女子×クロネコヤマトの「物流支援を考える」プロジェクト	楽天 「農業女子PJ×ラクマ ファーマーズマーケット」認知拡大PJ	レンタルのニッケン 農業女子的労働環境改善PJ			



チーム“はぐくみ”

7校 (2020年11月時点)

桜美林大学 農業女子という未来型ライフスタイル	蒲田女子高等学校 農業からはげばたけ！チャレンジ & 応援PJ	近畿大学 近大流 農業女子育成PJ	産業能率大学 大学生(女子大生)による農業女子PJのインスタグラムによる情報発信	東京家政大学 SDGs 野菜まるっと使い切りレシピ	東京農業大学 新たなワークスタイルを提案するkawaii農業女子育成プロジェクト	山形大学 地域がはぐくむ 未来の農業女子
----------------------------	------------------------------------	----------------------	---------------------------------------------	------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------

d. コロナ禍におけるプロジェクトの実施

- ◆ 農業女子の更なる活躍推進のため、コロナ禍にあってもこれまで以上に活動を推進
- ◆ リスクを最小限にする、「農業女子コロナ対策5つのルール」を制定

対面とオンラインを併用しよう！

対面による活動は大切ですが、対面の必要がないものについては、オンラインを活用しましょう



体調は自分で管理

37.5℃以上の熱があるときや、咳が出る場合は無理せず外出は控えましょう



農業女子 コロナ対策 5つのルール

三密防止を徹底しましょう

密集・密接・密閉の空間を避け、頻繁な換気を徹底しましょう



マスクの着用と手洗い

手洗いとマスク着用は確実に！



COCOAをインストールしましょう

新型コロナウイルス接触確認アプリ
COCOAをダウンロードすれば、感染者との接触を通知で受けられます



e. 各種規約の改定

		旧	新	
条	項	本文	本文	
実施内容	第3条	(記載なし)	(3) 事務局は、農業女子メンバーによる地域でのグループ活動や自主的な勉強会（農業女子ラボ）等の自主的な活動及び各グループ間のネットワーク作りの取組を支援する。	
個別プロジェクト	第2項	(記載なし)	2 個別プロジェクトは参画企業等と農業女子メンバーで実施する。	
	第4項	個別プロジェクトの実施に当たり、以下の事項については、必要に応じ、参画企業等と農業女子メンバーとの間で個別に取り決めることができる。 (1) 費用の支払いに係る事項 (2) 知的財産権の取り扱いに係る事項 (3) その他必要な事項 (第3項)	別プロジェクトの実施に当たり、以下の事項については、参画企業等と農業女子メンバーとの間で個別に取り決めるものとする。 (1) 個別プロジェクトの実施方法 (2) 知的財産権の取扱いに係る事項 (3) 緊急時の対応に係る事項 (4) その他必要な事項（費用の支払いに係る事項等）	
	第6項	農業女子メンバーの個別プロジェクトへの参画は、農業女子メンバーの希望及び参画企業等の要望を考慮した上で、事務局が決定する。 (第5項)	農業女子メンバーの個別プロジェクトへの参画は、農業女子メンバーの希望及び参画企業等の要望を考慮した上で、参画企業等と事務局が調整の上、決定する。	
	第8項	(記載なし)	個別プロジェクトの中で生じた紛争については、参画企業等と各農業女子メンバーとの間で解決することを原則とし、事務局は当該紛争に係る責任を負わない。	
統一ロゴマーク	第9条	第2項	農業女子メンバー及び参画企業等は、第2条の目的を達するため、別に定める「農業女子プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規程に従い、関連商品への添付やイベントにおける掲示等、情報発信時において積極的に使用する。	農業女子メンバー、参画企業及びサポーターズは、第2条の目的を達するため、別に定める「農業女子プロジェクト」統一ロゴマーク利用に関する規程に従い、関連商品への添付やイベントにおける掲示等、情報発信時において積極的に使用する。

e. 各種規約の改定

		旧	新
条	項	本文	本文
推進会議	第10条 第4項	<p>推進会議は、原則として1事業期に2回開催することとし、次の事項を取り扱う。</p> <p>(1) 本プロジェクトの推進に係る情報交換 (2) 第7条の個別プロジェクトの実施状況等に係る情報交換 (3) 本プロジェクトに係る活動方針等についての合意形成 (4) その他</p>	<p>推進会議は、原則として1事業期に1回以上開催することとし、次の事項を取り扱う。</p> <p>(1) 本プロジェクトの推進に係る情報交換 (2) 第7条の個別プロジェクト及び第8条の「チーム“はぐくみ”」の活動状況等に係る情報交換 (3) 本プロジェクトに係る活動方針等についての合意形成 (4) その他</p>
個人情報 の取 扱	第2項	事務局は農業女子メンバーの了承を得た上で、参画企業等および第三者に農業女子メンバーの個人情報を提供することができる。	事務局は農業女子メンバーの了承を得た上で、参画企業等、サポーターズ及び第三者に農業女子メンバーの個人情報を提供する。
	第3項	(記載なし)	事務局から個人情報の提供を受けた参加企業等、サポーターズ及び第三者は、第7条の個別プロジェクトや第8条の「チーム“はぐくみ”」の活動等の実施に当たり、農業女子の了承を得ずに、本件目的以外の使用、第三者への開示・漏洩個人情報の取扱をしてはならない
	第4項	(記載なし)	参画企業等及びサポーターズは、個別プロジェクトや「チーム“はぐくみ”」の活動等が終了した場合の他、事務局から指示がある場合は、個人情報を適切に廃棄する。
	第5項	(記載なし)	個人情報について漏洩等が発生した場合は、参画企業等及びサポーターズは直ちに事務局に通知し、原因究明を図るとともに、対応策を講ずるものとする。

女性が変わる未来の農業推進事業

【令和3年度予算概算要求額 85（75）百万円】

<対策のポイント>

女性農業者が能力を発揮して活躍でき、また女性にとって魅力ある職業として農業が選択されるよう、**地域の女性グループ活動支援、地域のリーダーとなりうる女性農業経営者の育成及び託児や農作業代替を一体的にサポートするネットワーク構築を支援**します。

<事業目標>

- 女性の認定農業者の割合の向上
- 農業委員に占める女性の割合の向上
- 農業協同組合役員に占める女性の割合の向上

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 地域の女性グループ活動支援

35（-）百万円

女性農業者グループによる女性活躍に向けた活動の活性化を図るため、地域の女性グループに対し、**組織力向上のための研修支援や、課題に即したアドバイザー派遣を支援**します。

2. 地域の女性リーダー育成支援

15（40）百万円

地域農業の方針策定に参加する女性を増やすため、**農業委員、JA役員等に必要な知識やスキル習得を支援**します。

3. 子育て地域ネットワーク構築支援

35（35）百万円

子育て世代の女性農業者の育児の負担を軽減し、農業経営力向上や働きやすい環境整備を促進するため、**託児・農作業代替活動を地域で一体的にサポートするネットワークの構築を支援**します。

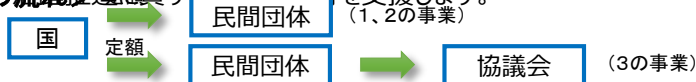
（関連事業）

強い農業・担い手づくり総合支援交付金等

女性農業者が積極的に採択されるよう配分ポイント加算等により農業用機械・設備の導入等を支援します。

農の雇用事業等

<事業の連携推進> 投資する環境整備等を支援します。



1. 地域の女性グループ活動支援



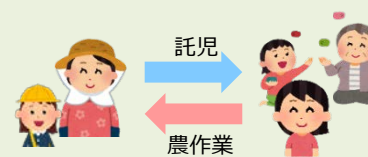
地域の女性農業者グループが**潜在的に抱えている課題を明確化**し、課題やニーズに応じた**アドバイザーを派遣し、伴走支援**等の取組を実施します。

2. 地域の女性リーダー育成支援



オンライン、又は対面による、
・コミュニケーション力、ファシリテーション力や関連法の**基礎知識の習得**
・**現役女性農業委員やJA役員との交流**を支援します。

3. 子育て地域ネットワーク構築支援



女性農業者の託児と農作業を地域で一体的にサポートする**地域ネットワーク構築**に向けた**モデル地区実証**を実施します。



1～3の事業を通じ、女性農業者の能力発揮と女性にとって魅力ある職業としての「農業」が**選択されることを目指**します。

【お問い合わせ先】 経営局就農・女性課（03-3502-6600）

4. 意見交換会

◆ 意見交換 テーマ1

- ◆ 第8期の活動方針について、どのように感じられましたか？
 - ◆ コロナの状況下で、農業女子PJへの考え、農業女子同士のコミュニケーションについて、どのように感じましたか？
 - ◆ これまでの活動を振り返っての課題（SDGsといわれても何をすればいいか、等）

◆ 意見交換 テーマ2

- ◆ 個人やグループとして、積極的に実施していききたいことは何ですか？
 - ◆ これまでとは異なる環境下における、農業、販売へのシフトが必要な中、実施していききたいこと、事務局に求める支援 等